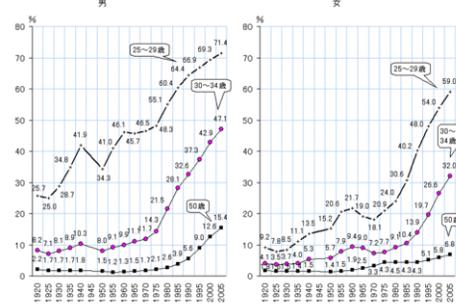
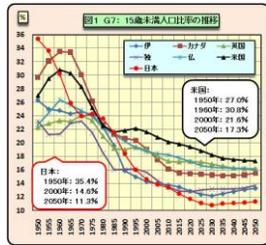


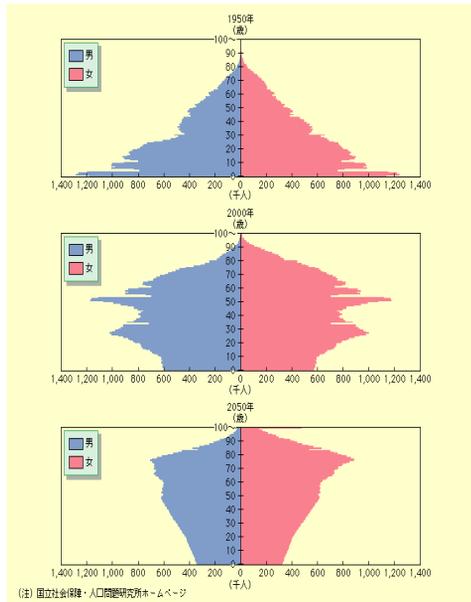
年齢別未婚率の推移



(注) 50歳時の未婚率は「生涯未婚率」と呼ばれる。
(資料) 国勢調査、人口統計資料集(社会保障・人口問題研究所)

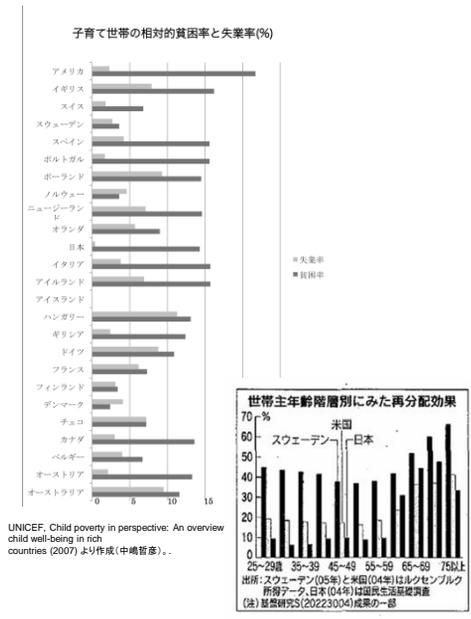
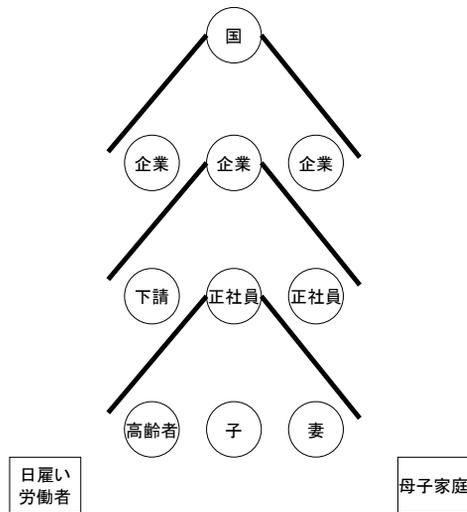


<http://www.geocities.jp/yamamhr/ProIke0911-91.html>より



(注) 国立社会保障・人口問題研究所ホームページ

3つの傘がしぼむと、雨に濡れる人が増える



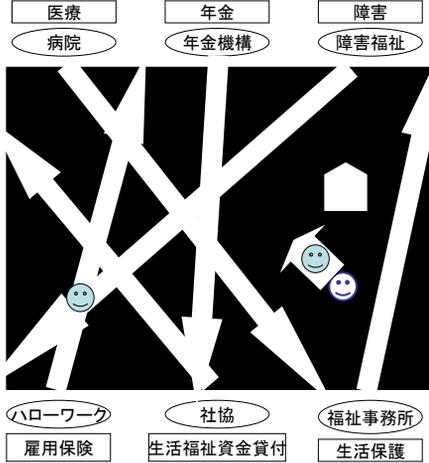
2011年10月24日・日経朝刊・経済教室：白波瀬佐和子「現役世代の再配分強化を」

パーソナル・サポートのイメージ

近年、雇用環境の悪化、家族の衰容などにより、家族と企業にカバーされない人たちが増えた（「無縁」「孤族」等々）。制度も多様化・複雑化しており、とすると間の部分に放置されたままの人たちが増え、社会全体に不安が蔓延している。

制度に照らされない人たちが抱え、制度に「つなぎ」<もどす>という個別的・継続的・包括的支援を提供してきたのは、NPO・民生委員・地域の世話焼きさんなど、現場で汗をかいてきた人たちだった。しかし、その「善悪」はあくまで個人芸・エキストラサービスであり、当事者から見れば「運がよかった」という話ではない。

必要な人を効率的に支援に結びつけるためにも、放置されることによる支援コスト増大を防ぐためにも、「氣遣い人」の機能をもつ社会サービスを構築する必要がある。それがパーソナル・サポートである。



『生活支援ネットワーク（仮称）』の推進について～分厚い中間の壁に倒れて～

「生活支援ネットワーク（仮称）」の推進は、社会の「命の危機」を減らすことと、生活支援ネットワークの構築を目的とする。以下、推進の課題と対応策を説明する。

①生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

②ハローワークに代わる生活支援の仕組み
ハローワークは、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

③生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

④生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

⑤生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

⑥生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

⑦生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。

⑧生活困窮・孤立者の早期発見
生活困窮・孤立者の早期発見は、生活支援ネットワークの推進の前提条件である。生活困窮・孤立者の早期発見には、生活困窮・孤立者の早期発見のための仕組みを構築する必要がある。